

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	抗アセチルコリンレセプター抗体を有する患者における免疫チェックポイント阻害剤の投与に関する検討		
1. 研究の目的と方法	<p>本研究の目的は、がん免疫療法剤の一部である免疫チェックポイント阻害剤（オプジーボ[®]、キイトルーダ[®]、イミフィンジ[®]、テセントリク[®]、バベンチオ[®]）の投与前検査で、抗アセチルコリンレセプター抗体を保有していた患者さんに対して、免疫チェックポイント阻害剤を安全に投与出来るかを検討することです。</p> <p>末梢神経から筋肉に指令を伝えるのはアセチルコリンです。重症筋無力症はこのアセチルコリンの受容体に対する抗体（自己抗体）が発症に関与することが知られています。</p> <p>一方、免疫チェックポイント阻害剤は、自己免疫が暴走して起こる自己免疫疾患のような副作用が出現することがあります。一部の自己抗体を保有する患者さんでは、免疫チェックポイント阻害剤で副作用が出やすくなることがわかっていますが、抗アセチルコリンレセプター抗体を保有する患者さんでは、まだ明らかになっていません。そのため、本研究を行うこととしました。</p> <p>方法は、電子カルテを用いて免疫チェックポイント阻害剤を使用した患者さんを調査し、投与前に抗アセチルコリンレセプター抗体を保有していた患者さんと、保有していなかった患者さんを比較・検討します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016年6月1日から2024年6月30日までの間に、東京慈恵会医科大学附属柏病院にて、免疫チェックポイント阻害剤を導入した患者さんで、投与前に抗アセチルコリンレセプター抗体の採血を受けた患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、がん種、疾患名、がんのステージ、自己免疫疾患の既往、免疫チェックポイント阻害剤の種類、併用薬、検査結果（血液検査、画像検査、生理学的検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部
		氏名	五十嵐 貴之

	(2) 試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(3) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部 研究責任者：薬剤師 五十嵐 貴之（いがらし たかゆき） 電話番号：04-7164-1111（内線 2331） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：30	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。